令和6年1月25日

令和6年 第1回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

令和6年第1回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 令和6年1月25日（木曜日）午後2時00分～午後3時33分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・第7会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

4番 内野裕子

5番 鈴木一徳

4. 欠席委員 3番 藤宮志津子

5. 説明職員

教育部長 小 俣 学

教育部参事兼
教育指導課長
学校施設更新
等担当課長
指導担当課長
（統括指導
主 事）

小 野 隆 一

教育総務課長 斎藤謙二郎

中 橋 健

菅 野 恭 子

新校開設
担当課長 大野祐司

菅 野 恭 子

青少年課長 越中洋

中央図書館長

浴 靖 子

6. 書 記

庶務係長 長瀬由美子

主 事

浅井亮介

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 教育長諸務報告
- 第 3 第 1 号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則
- 第 4 第 2 号議案 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）について
- 第 5 第 3 号議案 東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命及び委嘱について
- 第 6 第 4 号議案 東大和市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 第 7 第 5 号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部を改正する条例に係る意見の申出について
- 第 8 その他報告事項（1）令和 6 年東大和市二十歳の成人式の報告について

◎開会の辞

○岡田教育長 それでは、時間になりました。ただいまから、令和6年第1回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、内野委員にお願いいたします。

○内野委員 はい、承知しました。

◎日程第2 教育長諸務報告

○岡田教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

資料をご覧ください。

12月19日、火曜日、学校給食センター運営委員会に出席いたしました。

12月20日、水曜日、東京都立羽村特別支援学校50周年記念式典に出席をいたしました。

12月21日、木曜日、オンライン英会話授業、第四中学校で行われましたが、こちらを視察いたしました。また、東大和市防災会議に出席をいたしました。

12月22日、金曜日、教育委員会定例会に出席をいたしました。

12月24日、日曜日、「夢見る小学校」という映画でございますが、こちらの上映会が中央公民館ホールで行われましたので、こちらに出席をして拝見しました。こちらの映画につきましては、一般的にロードショーされている映画ではないのですけれども、子どもたちが主体となって、自分の学びを自分たちでつくっていくというんでしょうか、学校を自分たちでつくっているというか、授業自体も子どもたちがつくっているような、自分の取り組みたいことから、算数とかそのほかの教科も関連づけながら学んでいる姿、非常に子どもたちが生き生きとしている姿が描かれているドキュメンタリー映画です。実際にある学校で、公立の学校でもそういう取組が少しずつでもできるのかなというふう感じたところです。

年が明けまして1月4日、木曜日、市職員辞令交付式に出席をいたしました。

1月5日、金曜日、校長会に出席いたしました。また、教育委員懇談会に出席

いたしました。

1月7日、日曜日、令和6年東大和市消防出初式に出席をいたしました。当日は快晴で、放水訓練も行われていました。また、消防少年団の子どもたちも参加をしていました。消防団員が111名市内にはいるということですが、きびきびとした行動が見られて大変気持ちが高く、市内の防火に努めている、そういう姿勢が見ることができました。

1月8日、令和6年東大和市二十歳の成人式に出席をいたしました。私も初めて東大和市の成人式に出席をいたしましたが、成人の方を拝見して、大変立派な姿勢だったなというふうに関心しました。来賓の方がご挨拶しているときにちょっと頭を下げおじぎをしたりとか、拍手をしたりとか、そういう気持ちが一つ一つの動作に表れていたなというふうに関心しました。こちらのことについては、小・中学校で儀式的行事というのがございますので、そういうところでの先生方のご指導だったりとかということで、もう既に体に身につけている姿勢なのかなというふうに関心したところです。

1月12日、金曜日、教育委員意見交換会に出席をいたしました。

1月17日、水曜日、ワークライフバランス会議に出席をいたしました。このワークライフバランス会議というのは、働き方改革の研修会のようなものですが、市の理事者、また各部長、そして関係の課長が参加している会議でございます。当日は大阪府の四條畷市の東市長が自治体の取組としてお話をしてくださいました。その中で職員の組織に対する満足度、こちらについてはエンゲージメントというふうな言葉だったでしょうか、話をされておりましたが、その組織に対する満足度が高まることによって働き方改革が進んでいるということが分かる、そういう指標をつくったというふうなお話をいただきました。私はそこから学校の中でも働き方改革が進むために、やはり職員の意識というものがどんなものなのかということを図る必要があるのかなというふうに関心したところでもあります。特にその指標である一つの例でいうと、ほかの学校の職員に自分の学校で働くことを勧めたいかというふうに聞いたときに、ぜひうちの学校で働くことを勧めたいと自信持って先生が言えたら、その学校で満足度を高く、働きがいのある働きをして、日々充実しているんだなというのが分かるなと感じました。そんな回答が高い割合で出てくるといいなというふうに関心したところです。

そして同日ですが、教育委員意見交換会に出席をいたしました。

1月18日、木曜日、令和5年度庁舎防災避難訓練に出席をいたしました。

1月19日、金曜日、青梅信用金庫新春講演会に出席をいたしました。こちらは経済評論家の門倉貴史さんが2024年日本経済の展望というテーマでご講演していただきました。その中でいろいろなデータを示していただきながら様々な経済のお話をしていただいたんですが、最も会社に行きたくない曜日はとかそういうデータで、曜日別モチベーションが高い順ということで、一番モチベーションが高くなる曜日は、日本では金曜日が一番仕事のモチベーションが高い曜日だそうです。この日を頑張ればお休みになるということなんですか。一番モチベーションが低い曜日は日曜日、その次が土曜日、その次が平日でいうと水曜日というようなことで、月曜日がモチベーション低いのかなと思いきや、割と土日にお休みをして、ちょっと満足もして月曜日頑張ろうというようなそういう意識の方も多みたいですね。そのほかに観葉植物を置いただけで生産性が15%アップするとか、Z世代を取り込むことが大事なんだとか、高齢化に対応したマーケティング戦略ということが大事だとか、そういう経済のお話をしていただいたんですが、そういう働き方とかそういうことに関しては、学校教育の中にも取り込めるお話だったかなというふうに感じたところです。

教育長諸務報告は以上でございます。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたらご発言をお願いいたします。

岩田委員、お願いします。

○**岩田委員** この12月24日に見られた「夢見る小学校」という映画のことですけれども、主催はどこで、どういう方たちが参加されていたのか、分かる範囲で教えていただきたいと思います。

○**岡田教育長** 主催は一般の市民団体の方で、東大和市教育委員会が後援をしている上映会だったものですから、そこで私は知りました。いらっしゃる方は、一般の市民の方ですので、特段限られた方ということではなくて、広く周知をされていたようです。教育委員会でもこの「夢見る小学校」は先生方にも見てもらいたいと考えていて、教育委員会でも上映したいということもあったんですけれども、こういう形で一般市民の団体の方が上映してくださっていたので、教育委員会では今のところは上映予定はないんですけれども、そういうことでございました。今後もいろいろなところで上映会を実施することもあるかもしれませんので、そ

ういう機会がありましたらご連絡したいと思います。

○岩田委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第1号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する
規則の一部を改正する規則

○岡田教育長 日程第3、第1号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第1号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、令和5年第12回教育委員会定例会においてご報告いたしました東大和市学校給食センター運営委員会からの学校給食について（答申）の内容に基づきまして、東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正するものでございます。

それでは、内容につきまして、議案資料の新旧対照表でご説明をさせていただきたいと存じます。

資料のほうA4の横になっておりますが、資料のほうは6枚ありまして、最初に新旧対照表の6分の2ページをお開きいただきたいと思います。網がけのところ、こちらをご説明いたします。

初めに、第3条の給食費の基準月額についてであります。1食当たりの単価と月額の算定をより適切にする観点から、年間で一律としておりました月額を、4月から翌年2月までの分の基準額、また3月分の基準額に分けて定めるものであります。

その内容であります。表の左側第1号の小学生第1学年3,560円が、右側の表の同じ位置を見ていただくと、小学生の第1学年というところになりますが、4,230円及び4,200円に、同様に第2号の3,670円を4,370円及び4,300円に、また

第3号の3,950円を4,720円及び4,640円に、また第4号及び第5号の4,280円を5,070円及び4,980円に、そして第6号及び第7号の4,580円をそれぞれ5,550円に改めるものであります。

1枚おめくりいただきまして、6分の3ページをご覧ください。

同様に第5条の第1号にあります210円を250円に、そして第2号の226円を270円に、また第3号及び第4号の245円を290円に、1枚おめくりいただきまして6分の4ページの一番上になりますけれども、第5号及び第6号の272円を330円に改めるものであります。

次に、2枚おめくりいただきまして、資料の最後、6分の6ページをご覧ください。

こちらは附則でございます。こちらにつきましては、施行日を令和6年4月1日とするものであります。

なお、令和5年第3回東大和市議会定例会におきまして、令和6年度に国の交付金を活用いたしまして、市から学校給食会計に対しまして学校給食食材料費高騰対応助成金、こちらを交付するための補正予算が可決されました。この助成金は、今回の学校給食費の改定額に相当する分となっておりますことから、令和6年度の学校給食費の保護者負担分は、改定前の額と同じとなる見込みでございます。

説明は以上となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○**岡田教育長** 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

内野委員、お願いします。

○**内野委員** 6分の2ページになりますが、今回新たに3月分の基準額を別に記していますけれども、それは何か理由があるのでしょうか。

○**岡田教育長** 斎藤教育総務課長。

○**斎藤教育総務課長** 資料の6分の2ページをご覧ください。給食の実施基準日数等ですが、小学生（第1学年）186日、小学生（第2学年から第6学年まで）192日、小学校教職員192日、中学生185日、中学校教職員及び給食センターに勤務する職員185日とあります。一食当たりの単価に、この基準日数を掛けて、8月は給食費の徴収がございませんので11回で割ったときに、割り切れない分を3月分で調整しております。

以上になります。

○内野委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 見通しで分かればということでもいいんですが、23区内が給食費が大体無償化される中で、今後、その辺の動向について分かっていることがあったら教えていただきたいと思います。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 今教育委員からお話がありましたとおり、区部はほぼほぼ給食費の無償化をやっているような状況で、来年も引き続きやるという方向で聞いております。市のほうは、いろいろと検討している自治体もあるとは聞いていますが、実際にはっきりと来年やりますというところは、今のところ従前からやっているところ以外は話はまだございません。ただ、ここで東京都のお話もございましたので、今後、各自治体がどう動くのか私どもも情報収集に努める必要があると思っております。

以上です。

○岡田教育長 小俣教育部長。

○小俣教育部長 給食費の無償化につきましては、今、課長が話したとおりで、国、東京都の動向を注視している状況でございます。東京都では動きがありそうだということで、一部報道でも話が出ていたことありますけれども、まだ決定ではないというような私どもの認識ではあります。

一部知るところでは、無償化をする自治体については、半分東京都が出しますという報道なんですけれども、その情報では、無償化は全部無償化をするというのがまず前提になっているんですね。その全部をまず無償化するというのが、当市も含めてですけれども、多摩の市部ではなかなか難しく、東京都のその考え方となかなか動けないといいますか、一旦市が全部歳出で負担しないといけませんから、その用意が難しいということで、今のところまだそういう動きが私どもの市では取れていません。ほかの市でも同じようで、もっと補助内容を市部のほうに配慮してほしいという動きも一部ありますけれども、今はまだ見通しとしては、東京都の補助を使ってという動きにはなっておりません。国の動きはまだないという状況でございます。

今後も、保護者の方は負担がなくなるわけですから、無償化になれば一番いいと思っていますけれども、それまでの間は市でできることは何かということで私も考えて、国の補助金、交付金を使って保護者の方の負担増にならないことをまずしたというところがございます。まず動きとしては、そこまででございます。今後も国や東京都の動きを注視しながら、できることをやっていきたいとそのような考えております。

以上でございます。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

内野委員。

○内野委員 質問ではないんですけれども、今回この改正に関することに関しては、小学校、中学校の保護者の方にも事前にメールとかそういう形でお知らせしたり、先日配布となりました教育委員会だよりでもお知らせが載っていたりと、やはり保護者の方にご理解していただくという部分では、その周知ということで働きかけというものはできたのかなと感じて良かったと思っております。

○岡田教育長 ありがとうございます。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 保護者など市民の方への周知ですよ。教育委員の皆さんからもお話出ていましたが、給食センター運営委員会でも、丁寧にご説明をすればご理解いただけるんじゃないかとおっしゃっていただいていたこともありました。ですので、機会を捉えて、学校を通じてまちcomiメールとか教育委員会だよりとか、できるだけ周知に努めたというような認識を持ってございます。

今のところ、給食費の改定に関して苦情と申しますか、そういうものは私には入ってきていない状況でございます。引き続きPRと申しますか、周知と申しますか、丁寧にご説明していきたいと考えております。これ施行が令和6年4月1日でございます。まだ若干時間はありますので、できることを探しながらPRに努めていきたいと、周知していきたいと思っております。

以上でございます。

○内野委員 よろしくお願いたします。

○岡田教育長 斎藤教育総務課長。

○斎藤教育総務課長 細かい点で1点だけ。今部長からお話ございましたとおり、

昨年の12月の給食センター運営委員会からの答申の後、問合せとかご意見というのは来てはございません。ただ、給食費を無償化してほしいというものが、ほかの例えば医療費だったりいろいろなものと一緒になってご意見としていただいております。しかし、今回の改定に関しては、特にそういったものが12月の定例会以降来てはございません。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 給食費の改定の件と無償化の件と両方あるんですけれども、来年度に限ってはというんでしょうか、基本的に保護者の負担は今年度と変わらないというところで、保護者の方は給食費が上がるということにはなるけれども、負担はそのままという認識ですかね。ありがとうございます。

では、質疑のほうを終了といたします。

お諮りいたします。

第1号議案 東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第4 第2号議案 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想(案)について

○岡田教育長 日程第4、第2号議案 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想(案)について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第2号議案 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想(案)についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件につきましては、令和5年第10回教育委員会定例会におきましてご説明申し上げ、案としてご承認をいただき、令和5年12月から令和6年1月までの間、パブリックコメントを実施いたしました。

つきましては、本日の教育委員会定例会におきまして、市民の皆さまからご提出いただきましたパブリックコメントの意見に対する市の考え方及び本構想案につきましてご承認をお願いするものであります。

詳細につきましては、担当課長からご説明申し上げます。よろしく申し上げます。

○岡田教育長 大野新校開設担当課長。

○大野新校開設担当課長 それでは、基本構想（案）のパブリックコメントの意見に対する市の考え方及び基本構想（案）の内容について、私からご説明申し上げます。

まず、市民の皆さまからいただいたパブリックコメントの意見に対する市の考え方についてご説明いたします。

お配りした資料、A4のモノクロ両面印刷の10ページの資料、東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）に対するパブリックコメントの結果についての資料をご覧いただきたいと思っております。

冒頭の文章をご覧いただきまして、東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりの結果となりました。

1、提出した市民等の人数及び提出された意見の数は、3人及び1法人から17件のご意見の提出がありました。

2、意見の提出期間は、令和5年12月6日、水曜日から令和6年1月5日、金曜日までであります。

3、提出された意見及び市の考え方につきましては、資料に記載のとおりであります。抜粋してご説明させていただきます。

下の表の、提出者1の番号1をご覧いただきたいと思っております。

提出されたご意見としましては、2階平面イメージで西側にある校舎の普通教室1～6では黒板はどのような向きになるのでしょうかとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、基本構想（案）は、施設整備に向けた基本的な考え方を示すもので、具体的な黒板の配置や向きにつきましては、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、最適な環境を検討してまいりますとさせていただきます。

その下、提出者1の番号2をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、2階にある職員室などの管理諸室は保健室と同一階の1階のほうが連携が取りやすいのではないかと感じましたとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、東大和市立第七小学校・第九小学校統合検討会議において、特別支援関係諸室は1階に配置することが望ましいとの結論に達しました。そのことから、管理諸室は2階を中心に配置しております。また、来校者については、現在の第九小学校と同様に、外階段から直接2階に行くことができる動線を確保しており、職員室を建物の中心（2階）に配置することで、校庭を広く見守ることが可能となりますといたしました。

次に、資料をおめくりいただきまして、10分の2ページの中段の提出者1の番号3をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、給排水設備が必要な家庭科室、図工室、理科室は同じ階にしたほうが工事がしやすいのではないかと感じましたとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、具体的な建物の構造につきましては、今後、基本構想に基づき設計を進めてまいります。今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいりますといたしました。

次に、10分の3ページ、中段をご覧くださいと思います。提出者2の番号1をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、駐車場は学童保育所や集会室の施設に近いほうが良いと思います。学童保育所や集会室の施設付近に駐車場を増やすか、駐車場、学童保育所や集会室施設の位置変更を検討していただけないでしょうかとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、基本構想（案）では、安全上の観点から、児童の動線と車の動線を分ける計画としております。現在の第七小学校と同様に、東側の門と西側の門から児童が登下校をすることとし、北側の門は車の出入口や教職員・来校者の出入口としております。このことから、駐車場は北側のみの配置を計画しております。駐車場の増設等は、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいりますとさせていただきます。

次に、同じページが一番下、提出者3の番号2をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、建屋を4階にして防災拠点とするのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、新校舎は、建築基準法上の日影規制の関係等から、3階建ての計画としておりますとしております。

次に、10分の4ページの上から2段目、提出者3の番号4をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、自然環境の整備。ビオトープを計画より大きくする。七小と空堀川、七森を一体化した学校のご意見をいただきました。

市の考え方としましては、ビオトープの設置につきましては、維持管理等も含め、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。また、周辺の自然環境との一体的な整備につきましては、庁内で情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきますとしております。

次に、少し下にいていただきまして、提出者3の番号7をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、プール廃止に伴う水泳教室の質向上。近隣プールへの移動時の安全確保と補助員の確保のご意見をいただきました。

市の考え方としましては、新校舎では、プールは建設しない計画としております。新しい学校におけるプールの運用につきましては、近隣校のプールの共同利用や民間プールを利用することとしております。移動時の安全の確保等に十分配慮して実施してまいりますので、その旨を構想案40ページの8の(1)に追加しますとしております。

次に、10分の5ページご覧ください、提出者4の番号1をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、基本構想(案)24ページ、「(a)新しい学校建設のコンセプトに即した学校整備」の表中のコンセプト「4 防災拠点としての学校づくり」の整備内容等に、エネルギーの確保を追加するとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、市におきましても、エネルギー確保の視点や災害時の重要性については認識しており、構想案の27ページに電源の多重化を検討する旨記載しております。ご意見の趣旨を踏まえ、「エネルギー確保対策」、ご意見はエネルギー確保でしたけれども、文脈からエネルギー確保対策で対策をつけさ

せていただいて、追加をさせていただきたいと考えております。そのようにさせていただきます。

次に、1枚おめくりいただいて、10分の6ページ、提出者4の番号2をご覧くださいと思います。

提出されたご意見としましては、基本構想（案）27ページ、「（b）整備内容」の「③ライフラインの途絶等に対応した建築設備の機能確保」についての文章を資料に記載のとおりの内容に修正するとのご意見をいただきました。

市の考え方としましては、ここで使用している「インフラ」は、電力のほか、給排水設備についても対象としております。また、非常用電源を確保するためにどのような設備を導入するかにつきましては、今後、基本構想に基づき建物の設計を進めていく中で、検討してまいります。なお、構想案24ページに「エネルギー確保対策」の文言を追加することから、「電源の多重化を検討します」の文章を「電源の多重化等のエネルギー確保対策を検討します」に変更しますとしております。

抜粋でのご説明でありましたが、提出された意見への市の考え方につきましては、今ご説明させていただいたとおりにさせていただきたいと考えております。

このパブリックコメントの結果につきましては、市の公式ホームページで公表いたします。よろしくお願いいたします。

次に、基本構想（案）の内容についてご説明させていただきたいと思います。

お配りしたもう一つの資料、カラーの冊子、基本構想（案）をご覧くださいと思います。

重ねてのご説明で恐縮ですが、基本構想（案）につきましては、昨年10月27日に開催した令和5年第10回教育委員会定例会におきまして、内容について皆さまにご説明をし、ご承認をいただきまして、その後、パブリックコメント等を実施したものであります。ご承認いただいた基本構想（案）について、前回ご承認いただいた後に修正、追加等をした箇所のみご説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず、先ほどのパブリックコメントの結果等を踏まえて修正した箇所をご説明いたします。パブリックコメントの結果を踏まえて修正した箇所は3か所でございます。

カラーの冊子、基本構想（案）の24ページをお開きいただきたいと思います。

上段の新しい学校建設のコンセプトに即した学校整備のところのコンセプトの表をご覧くださいまして、4の防災拠点としての学校づくりの部分の整備内容等の箇所、赤字で黄色マーカーの部分になりますが、「エネルギー確保対策」、こちらを追加させていただいております。

次に、27ページをお開きいただきたいと思います。

(b)の整備内容の③の文章の中で、先ほどの24ページの追加を踏まえまして、赤字、黄色マーカーの部分、追記をさせていただいております。

次に、40ページをお開きいただきたいと思います。

中段の8、その他事項の(1)新しい学校におけるプールの運用の文章につきまして、こちらも赤字、黄色マーカーの部分になりますが、パブリックコメントのご意見を踏まえまして、「実施に当たっては、移動時の安全確保等に十分配慮します。」の文章を追加させていただきました。

申し訳ございません。27ページにお戻りいただいて、先ほどご説明したページですが、右上に四角の別紙：抜粋資料2と入ってしまっていますが、誤植でございます。申し訳ございません。

また、次にご説明した40ページも同様に右上に別紙：抜粋資料3という文字が入っていますが、誤植でございます。申し訳ございません。

パブリックコメントの結果を踏まえて修正した箇所は、以上の3か所でございます。

また、それ以外に誤植等について、前回ご承認いただいた基本構想(案)から修正している箇所がございますので、ご説明させていただきます。

まず、お戻りいただいて1ページをお開きいただきたいと思います。

1ページの下段の赤字、黄色マーカー部分を修正しています。内容そのものは変えてございませんが、文章の順番や言い方、また、てにをは等を修正してございます。

次に、13ページをお開きいただきたいと思います。

こちらについても、申し訳ございません。修正箇所じゃないんですが、上をご覧ください、「(2)新」となって、「(3)しい学校建設のコンセプト」となっていますが、作業中に改行してしましまして、こちらは「(2)新しい学校建設のコンセプト」になりますので、誤植になりますが、申し訳ございません。

次に、24ページをお開きいただきたいと思います。

上の表中の2、地域コミュニティの核となる学校づくりの行の整備内容等の箇所、「集会機能」とこれまでさせていただいていましたが、そちらを「集会所機能」に修正させていただいています。こちらにつきましては、基本構想（案）全体で「集会機能」というところは「集会所機能」に修正させていただいているところでございます。

1枚めくっていただいて、26ページをご覧くださいと思います。

こちら赤字、黄色マーカーの部分ですが、先ほど申し上げた「集会機能」を「集会所機能」に、上の1行目と、あとその下の表の中の左側に用途別というところの2段目、縦字で「集会所機能」、これは「集会機能」となっていたのですが、「集会所機能」にさせていただいております。

次に、33ページをお開きいただきたいと思います。

33ページは、こちらの図を黄色く囲ってございますが、こちら図の内容は修正しておりませんが、文言等がきれいに見えるように整えまして、差し替えているものでございます。内容は変えてございません。図そのものをきれいに差し替えているものでございます。

36ページをお開きいただきたいと思います。

見開きで36ページと37ページに黄色く囲っている箇所3か所ございますが、こちらについても先ほどと同様で、見え方をきれいに整理しまして差し替えているものでございまして、内容自体は修正をしてございません。

次、39ページ、お開きいただきたいと思います。

こちらにつきましては、一番下の（3）その他の文末を赤字、黄色マーカーにさせていただいてございますが、こちらは前回説明したときに既に直してございまして、今回直したものじゃないので赤字と黄色マーカーは誤植でございます。本来、黒くさせていただく部分でございました。失礼しました。

次に、43ページをお開きいただきたいと思います。

第九小学校の表の場所の欄、15番の芝生の行につきまして誤植がありましたので、誤植部分を削除しております。これまで「校庭西側のヒバフの移設を希望」と記載しておりましたが、まず「ヒバフ」が「芝生」の誤植だったんですけれども、それに加えて、ここは場所を書いているところでございますので、「西側」の後の部分は不要でございましたので、削除をさせていただいたものでございます。

次に、45ページをご覧いただきたいと思います。

上段、開催経過の表中、先日1月18日に開催した第7回会議の内容を今まで未定と記載しておりましたが、開催させていただきましましたので、内容を記載させていただきます。

また、その下、②の統合検討会議委員名簿の令和5年度の名簿につきまして、中段の第九小学校の北元先生の肩書をこれまで「主幹教諭」と書かせていただいていたんですが、七小のほうの菊地先生と同じ肩書に統一していただきたいということだったので、統一させていただきました。またその上に中村さんという委員の方のところの元字がちょっと赤字で黄色マーカーになっていますけれども、こちらも前回説明したときに既に直していただきましたので、誤植でございます。申し訳ございません。

次に、52ページをご覧いただきたいと思います。

52ページと53ページにつきまして、下段に二次元コードがございますが、ここを黄色く囲ってございますが、こちらは前回のご説明から受付終了という文字を上には足させていただきます、この二次元コードを読み込めないようにさせていただきますのでございます。

前回ご承認いただいた基本構想（案）から修正した箇所は以上でございます。この内容で、本日、委員の皆さまにご承認をいただきまして、基本構想（案）の（案）を取りまして、1月末までに基本構想として策定をさせていただきたいと考えております。

また、基本構想策定後につきましては、皆さまご承知の内容となりますが、令和6年度と7年度で新校舎の基本実施設計、仮校舎の設計工事を行いまして、令和8年4月に学校統合させていただきたいと考えてございます。そして、令和8年度から10年度で現在の第七小学校校舎を解体しまして、新校舎を建設し、令和10年2学期の新校舎開校を目指してまいりたいと考えております。

東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）について、説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がありましたら、ご発言をお願いいたします。

内野委員、お願いします。

○内野委員 ちょっとお聞きしたいんですが、36ページにある1階平面イメージと、

54ページと56ページのが違うのはなぜですか。

○岡田教育長 大野新校開設担当課長。

○大野新校開設担当課長 今ご質問いただいた36ページをご覧ください。上の
(3) 平面イメージの中の文章2行目をご覧くださいまして、検討段階では、上記配置計画におけるB案のゾーニングをベースとして、巻末の資料(54～57ページ)のとおり、B-1案とB-2案の平面計画イメージ案を作成し、検討を行ったと記載しております。これをベースに皆さんのご意見を踏まえて、この36と37に掲載させていただいているイメージに最終的にさせていただいたということでございまして、会議資料を巻末に入れさせていただいているというつくりになってございます。

以上でございます。

○内野委員 では、36ページのが最終的な今の段階のイメージということなんですね。

○大野新校開設担当課長 はい、そうでございます。

○内野委員 分かりました。ありがとうございます。

○岡田教育長 資料として巻末に載っかっている、今までの検討した中身が載っかっているということですね。

ほかにはいかがでしょうか。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 今、内野委員からいただいた質問、今までの検討過程の中で、例えば55ページだったらB-1案、次のページ、57ページではB-2案、そういう資料をたたきとして統合検討会議で皆さんに意見をもらって、その上で36、37ページに到達したというようなつくりになっておりますので、それはそのとおりでございます。

また、その統合検討会議の中で委員の方から、直接子どもたちに話をすると良いというようなお話がありました。アンケートは子どもを通じて親御さんが答えしてくれた形にはなっていますが、七小、九小の今在校している子どもたちに直接話すような機会が必要じゃないかというようなお話も出ていたことがありまして、大野課長が先日、両方の学校に行って子どもたちに説明をしています。そのときの様子を課長から報告させていただきます。

○岡田教育長 大野新校開設担当課長。

○大野新校開設担当課長 部長からご紹介いただきましたが、1月15日の月曜日に七小と九小に行き、全校児童の皆さんにご説明をさせていただきました。令和8年4月に学校を統合して、七小と九小が一つの新しい学校になって、令和10年2学期に今の七小の場所に新しい校舎で開校するというようなところを、九小では15日の朝の会で、同時にはできなかったので、七小では昼の会に行かせていただいて説明したんですが、どちらの学校もオンラインでやる形だったので、私自身はカメラの前で説明をして、児童の皆さんは教室で見ているような内容でしたので、会話などはないのですが、児童の皆さんにお話をちゃんと聞いていただいて、例えば4年生の方は、今の校舎で卒業する最後の児童になるので、僕らが最後なんだねとかということを担当の先生に言われていたというお話は聞かせていただきました。対面はしていないんですけれども、皆さんに伝えることができたかなと思ってございます。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

鈴木委員。

○鈴木委員 図の見方に関わるんですが、児童が登校してきますね。その入る門というのは、ここでは東西の校庭の両側の門から入るのでしょうか。昇降口は、そうすると校庭側のほうから子どもたちが入っていくみたいな感じなんでしょうか。そうすると、その昇降口と書いてあるところと廊下の色が区別していないんですけれども、そのこのところはいわゆる上履きで入るところが黄土色になっているところと受け止めるんでしょうか。子どものその動きをちょっと説明していただければと思うんですけれども。

○岡田教育長 大野新校開設担当課長。

○大野新校開設担当課長 36ページでよろしいでしょうか。

○鈴木委員 はい、36ページです。

○大野新校開設担当課長 児童の登下校は、今おっしゃっていただいたように東側と西側の門からとなりまして、車との動線を分ける関係で、北側の門は職員の方と来校者、あと車の門となります。児童は、西側はおっしゃったように南側から昇降口に入れるようにピロティを校庭に突き抜けさせている形になりますので、こちら児童は下からというんですか、南側から昇降口に入っていくような形になります。

色は、諸室、例えば管理諸室をちょっと水色にするとか、諸室の色を色分けして、それ以外の部分は全てこの黄土色みたいな色に表示してございますので、昇降口は、今下から、南から入ったら靴を脱いでいただいて、ここにげた箱があって、上履きに履き替えて入っていただくという形です。

○鈴木委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにいかがでしょうか。

どうぞ、鈴木委員。

○鈴木委員 あとはちょっと細かいことすみません。今、能登半島の地震が起こった直後で、トイレの問題と水の問題がすごく大きくなっていると思うんですが、27ページでそのことに③のライフラインの途絶等に対応ということで書かれています、また別のところで生活用水にも触れていただいているんですけども、ちょっと抽象的な感じがするんですが、やはり現状ではこれ以上詳しくできないのでしょうか。例えば空堀川の水は沸かせば飲めるのかとか、もちろんくんでトイレには使えるんですけども、現実にテレビの画面で今、困っている状況を見ていると、水についていろいろなことが思い浮かぶので、今みたいなことも出てくるかと思うんですけども、これ以上は具体化できないのでしょうか。どうでしょうか。

○岡田教育長 大野新校開設担当課長。

○大野新校開設担当課長 ありがとうございます。先日、能登半島で大きな地震がございましたが、そういったときに今までの発電の仕方とかも、やっていたものも本当に地震が起きると危なかったりするとかそういうこともあるかと思うので、この表記自体はこういう大きなところで記載させていただき、今後、設計を進めていく中で細かい部分は、これまでの教訓等も踏まえながら検討していきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにいかがですか。

内野委員。

○内野委員 質問ではないんですが、先ほど九小と七小のお子さんに説明しに行ってくださいたりとか、今回アンケートも取っていただいたりとか、やはり子どもの声をととても大事に思ってくださいったのが本当にうれしく思いますし、地域の方

からもパブリックコメントでいただいたように、学校そのものというよりは、本当にエネルギーのことに関する関心だったりとか皆さん持っていただいて、やはり子どもたちも、次の学校、4年生が一番最後だねという言葉、僕たちが最後なんだねという言葉にもあるように、次の新しい学校にやはり愛着を持って、地域の方々からも愛されるような場所になれるようないろいろ準備をしてくださって、とても良かったのかなと思っています。

また、これからもいろいろな意見や考え方、ここにも示されていますけれども、そういうことを一つ一つ大事にしながら進めていっていただければと思います。よろしくをお願いします。

○岡田教育長 ありがとうございます。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 様々な検討をして、やっどこまで来たなと感じております。誰もやったことがない仕事でして、当市では本当に手探りで進めてきたところがございます。統合検討会議の皆さんにもいろいろお話をし、ご意見いただいてここまで来ていますけれども、アンケートも含めて全否定というんですか、もうやめてくれとかそういう苦情めいたお話というのは目にした覚えはございません。

市民説明会も2回行いましたし、このパブリックコメントもそうですけれども、皆さん結構前向きというか建設的といいますか、私がよく覚えているのはプールの関係ですが、プールに関しては、費用対効果で1校に1つのプールというのは考えていないですとか率直にお話しをさせてもらったんですね。今年度、五小で民間のプールを借りて授業を行い、思いのほか児童からも評判が良かったりして、今後もそういう考え方を持っていきたいとお話ししたところ、七小の方でしたか、それで良いと、すごく後押ししてくれました。私どもおっかなびっくりのところありますけれども、市民の方もすごく後押ししてくれるような方もいらっしゃいました。

この基本構想を今日、教育委員の皆さまにご承認いただければ（案）が取れるわけですが、これが当市の今後のほかの地域での統合していくときの見本といいますか、ひな形になっていくんだというふうに思います。これまでも全て順調にこられたわけではないです。課題もあります。統合検討会議のメンバーの方からもいろいろご意見いただいたりしてきたこともありますので、そこは今後、実施していく中で、より良いその進め方を考えていかななくてはいけないと思いま

すけれども、今回本当にパブリックコメントも終えて、ここまでこられたということで、本当にほっとしているというのが正直なところですよ。

議会のほうにも2回、全員協議会で最初に説明をさせていただいて、その後、去年の12月、基本構想（案）の関係でも全員協議会でご説明させていただきました。ご意見などはいただいておりますし、直接私にもお話しいただくことがありますけれども、取りあえず軌道には乗れたかなというふうに思っています。

やはりまだまだこれで全て終わりというわけではないです。もうこれはあくまでも、先ほども課長からありましたけれども、今イメージというところですね。これから細かな基本設計、実施設計に入っていくわけですから、そちらでもスムーズに進めていけるように、先ほど一覧表に記載されていた大所帯の会議体ではなくて、もう少し小ぢんまりした会議体をつくって、考えながら、設計のほうも進めていきたいというふうに思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

○岡田教育長 ほかはよろしいですか。

（発言する者なし）

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

今こちらに出ているものについては、修正している部分が分かりやすくなっていたりとか、または何箇所か誤植があったりしているものがございますけれども、そちらのほうをきちんと修正した上で、新たな体裁をしっかりと整えた上での基本構想、統合新校の建設基本構想という形でいきたいというふうに思っております。

では、お諮りをいたします。

第2号議案 東大和市立第七小学校・第九小学校統合新校建設基本構想（案）について、本件を承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第5 第3号議案 東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員の
任命及び委嘱について

○岡田教育長 日程第5、第3号議案 東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員の

任命及び委嘱について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第3号議案 東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命及び委嘱についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

東大和市いじめ問題対策連絡協議会は、東大和市いじめ防止対策推進条例第10条第1項の規定により設置するものであり、本協議会は、同条同項において、学校、教育委員会、小平児童相談所、東大和警察署そのほかの関係者により構成されると規定されております。

東大和市いじめ問題対策連絡協議会規則第2条第2項において、本協議会の委員は東大和市教育委員会が任命または委嘱すると規定しており、第3条において、任期を2年とし、再任は妨げないと規定しております。

つきましては、本協議会の委員の任期が令和6年2月2日に満了となることから、委員の任命及び委嘱についてご提案申し上げるものであります。

それでは、任命及び委嘱する委員につきましてご説明申し上げます。

なお、委員の所属、役職及び任命または委嘱の区分、再任または新任の区分は記載のとおりでありますので、説明は省略させていただきます。

東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員として、学校からは飯塚庫健氏、和田孝氏の2人を、教育委員会からは小俣学、小野隆一の2人を、小平児童相談所からは波田桃子氏1人を、東大和市警察署からは宮本浩二郎氏1人を、そのほかの関係者からは小林展之氏、池田剛氏、小坂登章氏、山田茂人氏、幸村有紀氏、雨宮敏彦氏、宮川由美氏、原徹子氏の8人の合計14人について、任命または委嘱をお願いするものであります。

なお、今回はそのほかの関係者に東大和市総務部総務管財課長も任命しておりました。これは、以前、総務管財課が庁内における人権担当課であったことから任命をしておりましたが、現在は地域振興課が庁内における人権担当課であることから、今回は総務管財課への任命は行っておりません。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がございましたら、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 任期が6年2月3日からという形になりますので、よろしくお願
いたします。

では、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第3号議案 東大和市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命及び委嘱について、
本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第6 第4号議案 東大和市立学校の管理運営に関する規則の
一部を改正する規則

○岡田教育長 日程第6、第4号議案 東大和市立学校の管理運営に関する規則の
一部を改正する規則について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 ただいま議案となりました第4号議案 東大和
市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について、提案理由並び
に内容をご説明申し上げます。

本件は、令和6年度から小・中学校における夏季休業期間を延長することに伴
い、学校教育法施行令第29条第1項に基づく学期の第1学期を8月31日までとし、
第2学期の開始日を9月1日とするため、本規則の第3条第1項第1号、第2号
及び第4条第1項第1号を改正するものでございます。

説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑がありましたら、ご発言をお願いいたします。

確認ですけれども、以前、教育委員の皆さまにもお話をしてありました夏休み
の期間を延ばすということでございます。子どもたちの健康、そこが一番大きな
ところではあるんですけれども、昨今の気候変動というんでしょうか、夏のとて
も暑い時期に学校で学習することについて、どうかなというようなところ、また、

教職員の働き方改革のところ、そういうところが主な理由として、2学期の始まりについて変えていくというそういう趣旨であったかと思います。

今後、長期休業日の扱いについては、夏だけではなく、区部の学校で、入学式の時期を2日間後ろに変更するところがあるようです。今までは4月6日であったところが、4月8日から入学式とするようです。始業式は6日からという話みたいなんですけれども、入学式だけずらすことによって、これまで、入学式と、始業式は、小学校は同じ日でやっていたから、その日の働き方が随分と変わってくるというようなことが今日は新聞の記事に載っておりました。そういうことも今後はまた考えていく必要も出るかもしれませんが、本件については、夏季休業日の扱い、2学期の始まりのことについて提案するというものでございます。

鈴木委員。

○鈴木委員 これに伴って授業日数は年間で変わるんでしょうか、あんまり変わらないんでしょうか。それから関連して、土曜日授業の考え方等教えていただければと思いますが。

○岡田教育長 小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 委員のおっしゃる授業日数については、5日間これまでよりは少なくなる形になります。ただし、授業時数はしっかり確保するという形で、標準の時数は計画を立てていただきます。

土曜日については、学期に1回程度という形ですかね。そんな、運動会ですとか、文化祭ですとか、道徳の授業地区公開講座ですとか、そんなところでできるだけ地域の方に学校に足を運んでいただける機会を設けていこうというような方向で進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第4号議案 東大和市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第7 第5号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部を
改正する条例に係る意見の申出について

○岡田教育長 日程第7、第5号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部を
改正する条例に係る意見の申出について、本件を議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 ただいま議題となりました第5号議案 東大和市体育施設等に関
する条例の一部を改正する条例につきまして、提案理由並びに内容のご説明を申
上げます。

東京都によりまして清原中央公園に新設をされます運動広場につきましては、
東京都から市に譲与された後、市が管理・運営することとなっております。

そこで、当該施設を市の公園体育施設として位置づけ、市の運営内容についま
して定める必要がありますことから、本条例の一部を改正するものでございます。

それでは、議案資料をご覧ください。

初めに、別表第2につきましては、市の公園体育施設といたしまして、当該施
設の名称及び位置を定めるものであります。

続きまして、別表3は、休場日を定めるものでありまして、当該施設についま
しては、12月28日から翌年の1月3日までを休場日とするものであります。

続きまして、その下、別表の第4につきましては、開場時間を定めるものであ
りまして、当該施設につきましては、3月から10月までは午前8時から午後7時
まで、11月から翌年の2月までは午前8時から午後4時までを開場時間とするも
のであります。

その下になりますが、続きまして、別表の第5は、利用料金を定めるものでご
ざいます。別表第5（5）というのがあるんですけども、その次に（6）とい
たしまして、当該施設の利用料金を定めるものであります。

附則につきましては、第1項といたしまして、この条例は、公布の日から起算
して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行するものとし、ただ
し、次項、2番ですね、附則の2のことになりますが、次項の規定は、公布の日
から施行するものであります。

第2項といたしましては、指定管理者の指定の手續その他の準備行為、そういうものがございしますが、それらの内容につきましては、この条例の施行の日の前においても行うことができると定めるものでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○岡田教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 この清原中央公園運動広場というのは初めて聞いたんですけれども、具体的にどういう運動施設として利用できるものなんでしょうか。教えてください。

○岡田教育長 小俣教育部長。

○小俣教育部長 この清原中央公園運動広場というのは、岩田委員がおっしゃるとおり初めて出てくる施設でございます。この運動広場の南側に、運動広場と別の公園を造っています。そちらが清原中央公園となります。この今回ご説明のものは、運動広場に特化したご説明となり、公園のほうは、2階のまちづくり部で動いておりまして、そちらの名称が清原中央公園ということで定まります。そこにできる私どもの運動広場につきましては、その清原中央公園と一緒にできる、同じ場所にできるということでこの名称を使い、清原中央公園運動広場というふうに名前をつけるものでございます。

この運動広場につきましては、大きさは100メートル掛ける64メートルです。基本的にはサッカーの公式試合ができる、これを特色としておりまして、人工芝で造る、そういう運動広場でございます。

駐車場は41台ありまして、基本的には桜が丘市民広場が見本になっています。桜が丘市民広場と同じような多目的広場ということで、いろいろな種目ができるように想定しております。特色としては、人工芝でサッカーの公式試合ができるというのを売りにはしておりますけれども、サッカーだけじゃなくて、例えばグラウンドゴルフとか、それからアルティメットとか、そのほかもターゲットバードゴルフとか今想定しているのはそういう競技ですけれども、ほかのレクリエーションもできる、いろいろなことを想定した運動広場として位置づけております。野球は近くに上仲原公園がありますから、そちらでやっていただくように考えております。基本的には今言ったスポーツを中心に使える運動広場ということ

で進めてきております。

これまで議会でも、完成予定は令和6年9月というふうに説明をしてきておりましたが、結構工事が早まっておりまして、7月ぐらいにはもうできてしまうんじゃないかということが情報として入ってきていましたので、少しでも早く皆さんに使っていただくという考え方で条例の一部改正も進めることになりました。

こちらの今日の資料でございますが、利用料金につきましては、2時間で、例えば大人、全面、平日4,300円という料金体系となっております。土日と休日が2時間で、5,500円です。この違いにつきましては、やはり平日を安くすることで、平日の稼働率を高めようという意図があります。子ども料金はあまり顕著に平日と土日の、休日の差がありませんけれども、一応料金体系としてはそのような意図が含まれております。

桜が丘市民広場は、ゲートボールの方などが、朝6時から使っていますが、こちらの清原中央公園運動広場につきましては、朝は8時からということで、これまで近隣の自治会とかともお話をしてきた中で合意を取りながら、近隣の住民の方に配慮して朝は8時から、終わる時間は、11月から翌年の2月までの冬時間は午後4時までというのは、桜が丘市民広場と一緒です。やはりこれは日没の時間を考慮して、4時までということでございます。ナイターの施設はございませんので、こちらも近隣の住民の方々に配慮してこういう時間を設定したということでございます。

簡単ですが、取りあえずお答えとしてはここまでとさせていただきます。またほかに何かありましたら、よろしく申し上げます。

以上です。

○岡田教育長 お願いします。岩田委員。

○岩田委員 基本的には、お金を払わないと使えないという施設ですね。分かりました。

それでは、体育館などのように団体登録をして、減免団体として認められるという措置は考えていらっしゃいますでしょうか。

○岡田教育長 小俣教育部長。

○小俣教育部長 基本的に東京都が造る施設ですが、市が運営していく体育施設ですので、市民の方が優先で考えております。東京都が造る施設ですので市外のスポーツ団体も使えますが、基本的には空いているところを使っていただくことに

なります。ただ、東京都、ほかの都内の自治体が主催や後援をしたりするものについては、特別申請を認めることになると思います。そこは東京都との調整の中で残りました。桜が丘市民広場にはそういう配慮はないんですけれども、そこは東京都に配慮して、この清原中央公園には、市外団体の特別申請については配慮があります。それは今までにない考え方ですが、それはもうやむを得ないのかなというところでございます。

あとは、減免制度につきましても、現状は考えております。それは桜が丘市民広場と同様の取扱いということで、現状は考えております。

以上でございます。

○**岩田委員** もう一ついいですか。申込みに当たっては、やはり体育館なんかと同じように抽せんという形で使えるようになるわけですね。

○**岡田教育長** 小俣教育部長。

○**小俣教育部長** 特別申請以外の一般の申込みにつきましては、抽せん方式を取ります。そういうことになっております。

以上でございます。

○**岩田委員** ありがとうございます。

○**岡田教育長** ほかにいかがでしょうか。

内野委員。

○**内野委員** 子どもの年齢は幾つから子どもの扱いでしょうか。

○**岡田教育長** 小俣教育部長。

○**小俣教育部長** 子どもに関する記載は、体育施設等に関する条例の中にありまして、「こども」とは、幼児、小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者をいいます。ただし、特別の定めがあるときは、その定めによるものとしますということで、中学生以下というふうになります。

以上です。

○**内野委員** ありがとうございます。

○**岡田教育長** よろしいですかね。子どもは中学生以下ということでございます。

ほかによろしいですか。

(発言する者なし)

○**岡田教育長** では、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第5号議案 東大和市体育施設等に関する条例の一部を改正する条例に係る意見の申出について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、さよう決めます。

◎日程第8 その他報告事項

○岡田教育長 日程第8、その他報告事項を行います。

報告事項(1) 令和6年東大和市二十歳の成人式の報告について、本件の報告をお願いいたします。

小俣教育部長。

○小俣教育部長 それでは、令和6年東大和市二十歳の成人式実施結果報告を申し上げます。

資料その他報告(1)をご覧ください。

教育委員の皆さまもおいでいただいておりますので、式典の様子などはご存じかと思うところがございますが、参加者、参加人数など集計をいたしましたので、ご報告を申し上げます。

対象者数及び出席者数ですが、対象者数につきましては855人で行いました。これは市外に住んでいらっしゃる方も参加したいというお申出いただいた方が含まれております。855人です。

出席者は、そのうち568人で行います。出席率は、66.4%ということで、結構高いほうかなというふうに思っています。

出席者の家族という把握もしております、134人ということで、結構ご家族がおいでいただいております。今回、小ホールを出席者の家族のために開放しました。大ホールの式典の様子が見えるようにプロジェクターで小ホールのスクリーンに投影しました。あまり画質が良くなかったのですが、家族の場所を確保して、中で座ってご覧いただくというのはすごく喜ばれました。

当日は、本当に天気も良くて、4年ぶりに1部制で実施しました。コロナで2回に分けてやっていた去年とおととしもありました、その前の年は中止でしたから、4年ぶりに1部制ということで、元に戻ったというそういうことがございます。登壇する理事者の方、皆さまも、あと議員の皆さん、大勢ご登壇いただいて、4年ぶりに以前の式典の内容に戻ったというそんなところでございます。

教育委員の皆さまも様子をご覧になっていただけたと思っております。本当に出席した新成人の皆さんの、態度も良く、市長、議長、国会議員の方がご挨拶した後、拍手をしてくれたりとか、新成人の誓いの言葉のときは、特にしんとなつて、すごく厳かで良かったなというふうに思っております。大きなトラブルもなく、無事に終わって本当に良かったと思っているところでございます。

おいでになられました教育委員の皆さま、本当にありがとうございました。

以上でございます。

○岡田教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、質疑を終了いたします。

◎閉会の辞

○岡田教育長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって令和6年第1回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後 3時33分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長

会 議 録 署 名 委 員